



SESERAGI-MISHIMA
ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2011~2012年度 RI会長 カルヤン・パネルジー
RIテーマ REACH WITHIN TO EMBRACE HUMANITY ころの中を見つめよう、博愛を広げるために

クラブテーマ「会員同志の職業を理解し出来ることはし助け合おう」会長 渡邊照芳
副会長 太田政人 幹事 山田定男

事務所 三島市中央町4-9 小野住理中央町ビル2F
TEL. 055-976-6351 FAX. 055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ 検索

例会場 ブケ東海三島
TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

第1086回 例会
2012.4.13

司会:久保栄子君 指揮:土屋 巧君
ロータリーソング「我等の生業」

会長挨拶

会長 渡邊照芳君

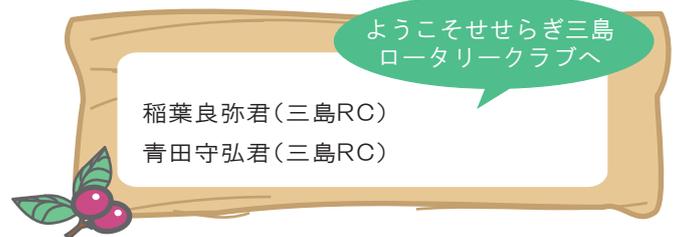


本日は、矢岸貞夫君の職業紹介をさせていただきます。矢岸君は、(株)ヤギシの取締役で主に産業廃棄物・スクラップ処理の仕事を行っております。この仕事に入ったきっかけは、お父さんが昭和

24年(ちょうど矢岸さんが生まれた年ですね)からこの仕事を旧宮倉(今の日の出町)で始めました。戦後の復興時又朝鮮戦争による特需と景気が良かった頃だと思います。しかし矢岸さんが中学生の時、同業者に当時のお金で約5000万円位引っかけ、このままでは倒産してしまうと高校へ行きながら仕事の手伝いをし、卒業後も兄弟3人で力を合わせ盛り返そうとこの仕事にそのまま入りました。45年間この仕事をやってきて大変だったのは、引っかけた借金の返済、そして今までの事務所・作業所が住宅地の中なので近所からの苦情により、今の場所への移転に伴う借金の返済で、毎日早朝から夜12時まで仕事をしてきた事、又この仕事は、世の中の景気・鉄の相場に左右される為、何か事件・事故があると大きな影響を受ける事になる。その為常に同業者と色々な情報を集め注意が必要である。そして我々の仕事は世間から見ると、汚いもの・スクラップの処理という迷惑産業であるが、近隣から苦情が出ない為にも朝8時に始まり夕方5時の時間内に仕事を終る事により近所からも役所からも一切苦情がでない、そして世の中きれいな仕事ばかりでない、きれいな仕事・きれいな街があるのは世の中の廃棄物をかたずけている我々の仕事があって初めて世の中回っていると思う。これからも自分の仕事に誇りをもち、お客さま、従業員、家族すべてに感謝を持っていきたい、そして少し会社が落ち着いたら、奥さんとゆっくり、のんびりと旅行へ行きたいとっておりました。

私も矢岸さんとは、子供の頃からの付き合いですが、非常に面倒見の良い人です、それは学生の時、仲間

達が家業が大変なのを見て、一緒になって会社の手伝いを助けてくれたと聞きました。その頃の自分が受けた恩を何らかの形で人に返そうと言う表れでないかと思えます。今でも現場の第一線で仕事をしている貞夫ちゃんですが、還暦もすぎておりますので体に気を付けて、余りむりをせず、大変な時は、息子さん達にまかせぼちぼちやって下さい。



出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	29/34	85.29%	30/34	88.24%
今回	30/34	88.24%	会員総数	35名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

石井(和)君、大房君、杉山(隆)君、山本(章)君

おめでとう

入会記念日 4月16日 小林 勝君

幹事報告

幹事 山田定男君

1. 今年度の国際交流協会の理事を山口雅弘君にお願いすることになりました。

今は居ながらにして世界中のワインが手に入り、飲めるようになりました。レストランでは勿論のこと、和食のお店、居酒屋、又、お姉ちゃんのいるお店まで銘柄や味はともかくとしてワインがおいてあります。でも、ご自分でワインを選んだり、どれを注文して良いか解らない方、多いんです。又、逆に通ぶっていると周りからちょっと嫌がられたり。今日は少しワインの世界に入って頂きたいと思います。

まず、近年のワイン生産国は大きく二つに分かれまして、伝統国のオールド・ワールド・ワインと、今はやりのニュー・ワールド・ワイン新世界ワインとがあります。

伝統国はフランス、イタリア、スペインでこれらの国はワイン法に沿って産地名をラベルに表示します。そのワイン法は、ワインの個性と品質を守る為数々の規定と規制の元、ワインが作られています。このワイン法は最初にフランスが法制化し、後、イタリア、スペインもこれに倣って作りました。それに対して、新世界ワインはアメリカ、チリ、オーストラリア、南アフリカ等でこれらの国のワインは伝統国の様な法規制は殆どなく、ブドウの品種名がラベルに表示されますので、ブドウの品種名とその品種の味の特徴をつかめばワインをご自分で選ぶ事ができます。三年前からオールド・ワールドでも日常ワインに限り、ラベルに品種名表記に法改正され、新世界ワインの様に選び易くなりました。

では、もうご存知の方も多いとは思いますが、頻繁に目にするブドウ品種をご紹介します。

〈白ワイン品種〉

シャルドネ、ソーヴィニヨン・ブラン、リースリング、ヴィオニエセミヨン、ミュスカデ、ピノ・ブラン等

〈赤ワイン品種〉

カベルネ・ソーヴィニヨン、メルロー、ピノ・ノワール、ガメイシラー、グルナッシュ等

これらの品種は原産国がフランスで新世界ワインにも良く使われている品種です。これ以外にもワイン生産国ならではの地ブドウ品種が栽培され、ワインが生産されております。ブドウの品種は栽培される土地の気候や土壌に合っている為に優れたワインになるもので、同じものを他の国、他の地域で栽培しても同じ出来栄えのワインになるとは限りません。ブドウの適材適所を知ることが大事になります。

フランスでは2千年を超えるワイン作りの中でブドウの適材適所を定め、特に上質なワインを育む産地を、AOC法原産地統制呼称というワイン法で産地ごとに品種、栽培方法、最大収穫量、熟成期間等厳しい規定と規制で厳格にワインを管理しております。ですから何十年も生き続ける品質と複雑で奥深く、繊細でエレガントな味わいの

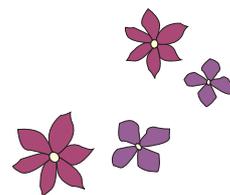
ワインが出来るのです。

これに対して新世界ワインはブドウの味わいをストレートに感じ殆どのワインが若いうちに楽しめるタイプのワインです。

気軽なレストランでのお食事やご家庭で飲むワインは新世界ワインで充分良いのですが、皆様は経営者でロータリアンでもありますので、各国に出向き社交の場も広い事と思います。有名ホテル、有名レストランでのお食事やお酒を召し上がる機会も多い事と思います。その様な場面ではやはりワインです。そしてそのワインはフランスワインです。まずは食前酒としてシャンパンを。とりあえずのビールはスマートでは無いので、そして、赤ワインはフランスボルドーワインを召し上がって下さい。味が解らなくてもいいんです。回数を重ねていくうちに上質なボルドーワインの味が解るようにきつとなります。

メドック格付け、知っている方いらっしゃいますか？

フランスのみならず、世界を代表する高級ワインの代名詞、メドックの格付けのワイン。メドックの格付けとは1855年パリ万博の際、ナポレオン3世指示の元、公式の格付けが制定されました。この格付けは150年経った今も生きています。



スマイルボックス

中村 徹君：東日本大震災被災地訪問団の皆様、15、16日には体調に充分気を付けて下さい。

矢岸 貞夫君：千鳥ヶ淵、靖国神社周辺の桜を見て来ました。昨年は震災の為、桜まつりも自粛されてましたが、今年は花見客も多く見事でした。又、本日の私の職業紹介ありがとうございました。

米山 晴敏君：お久しぶりです。仕事が忙しくて出席できませんでした。申し訳ありませんでした。スマイルします。

杉山 順一君：駿河の湯様で3000円にてお風呂と30分の足ツボ又はボディケアがセットになったお得なプランです。私が自信を持って駿河さんをお願いし作って頂いたプランでしたが見事外れ気味です。お得なプランなので仕事の合間や気分転換に利用して頂ければ幸いです。現場には中山さんという綺麗なスタッフがいるので指名してあげて下さい。

三島ロータリークラブ 記念講演参加のお願い

三島ロータリークラブ 55周年記念事業部会
部会長・青田守弘君

三島ロータリークラブは、おかげさまで5月16日（水）に55周年を迎えます。それを記念して、講演を開催する計画です。講師は藤村正宏先生で、演題は「物売るな、体験を売れ！！」です。

講演を聞くと価値ある2つのヒントが得られます。

- ①「コストをかけずにスグ売上が上がる方法」
- ②「不況でも選ばれる会社になる方法」

私も何度か藤村先生の講演を聞きに言っております。先生の教えは私どもが企画、コンサルティングしている、サントムーンやイーラdeにも活かされていると考えます。イーラdeは、開店して丸4年が過ぎました。初期の企画は我々ではありませんが、開店して1年たった時「イーラdeの不振を何とかして欲しい」との要請を受け、丸3年リニューアルを進めてきました。現在、開業年度比で130%のレジ客数。売上では110%と伸ばしています。

先生は、三島で研修を行った実績があります。店頭でキャッチコピーを書いた看板を付け、売上を上げる。と言う研修でした。その中で毛糸やさんは、前月上対比で216%の実績をあげたそうです。

さて、3つお願いがあります。

- ① チラシを3回読んでください。
- ② 先生のブログにアクセスしてください。
きっと、ワクワクしてくると思います。
- ③ もし、ワクワクしてきたら、FAXで参加申し込みをして下さい。

会場の都合で人数に限りありますのでお早めに！

副部会長・稲葉良弥君

記念事業というと、モニュメントを作ったり物を贈ったりすることが多いのですが、私達は「夢と希望とやる気」が湧いてくる機会を提供しようと考えました。

経営者はもとより、企業にとって重要なポジションをになう社員の方々など、多くの方に参加していただきたいと考えます。

もし、経営者が年配の方で、いまさら勉強もいよいよ。とお考えなら、後継者を出席させてください。必ずや「聞いてよかった」と喜んでいただけると信じています。

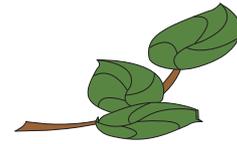


PHOTO GALLERY

